

令和3年度 第6回臨床腫瘍セミナー

日時

2022. **3.1** (火)
18:00～19:00

参加費
無料

Web
開催

Li-Fraumeni症候群における がんサーベイランスの課題と展望

講師

名古屋医療センター 遺伝診療科医長
はっとり ひろよし

服部 浩佳 先生

司会：佐野 秀樹 先生 (附属病院小児腫瘍内科)



Li-Fraumeni症候群(LFS)は、幼少期から成人期に渡り種々のがんを発症する遺伝性腫瘍である。トロント小児病院のDr. Malkinらの報告をきっかけに、全身MRIを中心としたがんサーベイランスの有効性が示されつつある。本邦でもLFS診療ガイドラインが整備され、がんサーベイランス臨床試験が開始された。本講演では臨床試験の紹介を兼ねて、今後どのようにLFS診療を進めていけば良いかを考えてみたい。



インターネットに接続できる場所で、
左の2次元コードか以下URLよりお申込み下さい。

https://zoom.us/webinar/register/WN_OPVtLB3_Q4OU-QIjyzkpkg

お問い合わせ

福島県立医科大学がんプロフェッショナル養成支援室
ganpro@fmu.ac.jp

- ◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象にした公開講座です。
- ◆本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっており、同事業の教育プログラム『小児がん・AYA世代集学的治療インテンシブコース(インテンシブ)』の講義に該当します。
- ◆大学院セミナー【規定8】に該当します。本学大学院生は履修票をご用意ください。